2017 1 January

コモンズ30 +しずぎんファンド 〈月次報告書〉

commons asset management, inc.

基準価額の推移

ファンドのデータ

(2017年1月31日付)

基準価額	11,163円
純資産総額	591百万円

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30+しずぎんファンドの費用」をご覧下さい)。

※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.242%(消費税込)です。

基準価額の騰落率

(2017年1月31日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	設定来
1.54%	8.11%	17.78%	12.66%	11.63%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
コモンズ30ファンド(マザー)	92.2%	0.6%
静岡銀行株式	8.0%	0.1%
現金等・その他	▲0.2%	▲0.7%

構成銘柄	31社	0社

分配実績

第1期 (2015年12月18日)	0円	第2期 (2016年12月19日)	0円

運用状況(コモンズ30マザーファンドについての記載となります)

◎1月のファンド月間リターンとその要因

1月のファンドの月間リターンは、1.77%の上昇となりました。

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「SMC(+10.77%)」、「堀場製作所(+9.80%)」、「クボタ(+7.88%)」となりました。SMCは、トランプ大統領が注力する米国での工場新設増大で、恩恵を受けるFA投資関連企業として注目されました。堀場製作所は、半導体製造装置の需要環境が良好で、収益拡大期待が高まりました。クボタは、米国でのインフラ投資拡大が見込まれるなか、建設機械や農業機械を手がけるメーカーとして好材料視されました。

一方、下位3銘柄は、「日揮(▲7.58%)」、「エーザイ(▲7.35%)」、「味の素(▲5.33%)」となりました。日揮は、原油価格の上昇一服と、昨年12月の株価大幅上昇(前月比12.50%上昇)の反動などが影響しました。エーザイは、トランプ大統領が記者会見で薬価が高すぎると発言し、米国市場で製薬株が売られた流れが日本市場にも波及しました。味の素は、円高の進行や、31日発表(後場引け後)の四半期決算発表への警戒感が台頭しました。

なお、ベビーファンドで直接投資している静岡銀行株式の月間騰落率は+0.31%でした。

◎運用責任者メッセージ

1月の内外金融市場は、トランプラリーからトランプ旋風に揺さぶられる状況へと変わりました。主要閣僚人事の承認が遅れる中、大統領の発言が注目される状況が続いています。特に通商問題と為替政策をセットに二国間で交渉をするスタイルは、これまでの枠組みとは違った対応が必要となりそうです。国内株式市場においても、為替問題と自動車産業に対する米国の姿勢を見極めていかねばなりません。

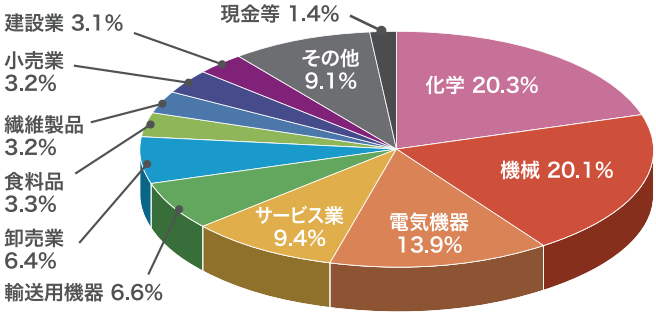
本来、トランプ政権のマクロ経済政策は、所得税・法人税の減税とインフラ投資、雇用創出と対外不均衡の是正が中心のはずです。日本企業もサプライチェーンの見直しが迫られる局面があるかもしれませんが、しっかりとした定点観測をベースに外部環境の大きな変化に対する企業側の対応力を注視してまいります。どうぞ、引き続き、ご期待ください。

最高運用責任者　伊井 哲朗

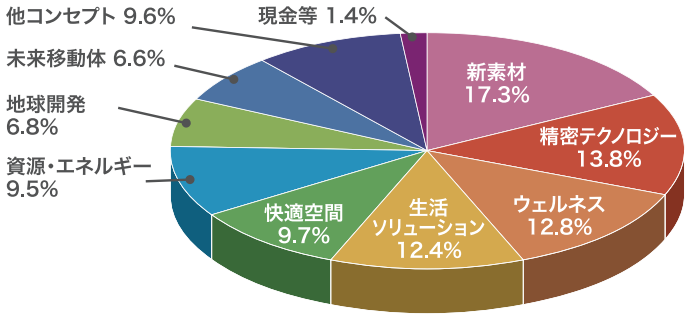
コモンズ30マザーファンドの業種別構成比と未来コンセプト別構成比

（2017年1月31日付）

◎業種別構成比



◎未来コンセプト別構成比



- 比率は純資産総額を100%として計算しております。
- 比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 業種については東証33分類に基づいて記載しております。

組入上位10銘柄（静岡銀行株式を除く）

（2017年1月31日付）

コード	銘柄名	未来コンセプト	概 要
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性
6988	日東電工	新素材	柔軟変化し、持続成長が続くグローバルエリアニッチトップ
6326	クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与
6367	ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー
6501	日立製作所	社会インフラ	インフラとＩＴをつないで、世の中を便利にする
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力＆ＩＴ力
6902	デンソー	未来移動体	自動車市場拡大の恩恵を受ける

◎未来コンセプトとは　当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。
「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

新規組入投資先

なし

今月のピック！

1月は堀場製作所の株価が9. 80%と大幅に上昇しました。半導体製造装置の需要環境が良好で、収益拡大期待が高まりました。日本半導体製造装置協会によると、昨年12月の日本製半導体製造装置のＢＢレシオ（受注額を販売額で割った値）が3カ月連続で1を上回りました。数値が1を超えると、出荷額よりも受注額のほうが多いことを意味し、半導体業界の業績の先行きが明るいことを示唆します。受注額については、2007年5月以来9年8カ月ぶりの高い水準でした。
同社は、マスフローコントローラー（半導体製造工程に組み入れられ、流量計測及び制御を行う機器）を中心に、半導体事業の構成比が、2016年12月期（推定）の営業利益のうち5割程度を占めており、半導体事業は業績のけん引役となっています。
なお、日欧米を中心とした自動車の燃費および環境の規制が強化される方向のなか、エンジン排ガス測定を中心とする自動車事業も収益への貢献度が高まってくる見通しです。

運用部・シニアアナリスト　上野 武昭

こどもトラスト

こんにちは、マーケティング部の横山です。おかねの教室『かきくけコモンズ』が誕生して丸2年。のべ100名以上のこどもたちと「おかね」について勉強を続けてきました。
おかねの4つの使い方の理解は、その中で大きな目標のひとつです。4つの使い方とは「使う(つかう)」「貯める(ためる)」「殖やす(ふやす)」「寄付する(ぼきん)」の4つです。※この教室はハッピー・マネー四分法の考え方をベースにして作成しています。「使う」「貯める」はこどもたちにも身近ですが、「ふやす」はどうでしょう？私はこんな風に話をしています。
おかねは「成長するもの」にかえておくとふえます。植物も人も会社も、情熱や愛情や時間をかけて育てていくと大きく成長します。成長するということは価値が上がるということで、これを投資といいます。
「成長するものって？」という問いかけに小1の女の子から「わたし！」という答えが返ってきました。そうそう！そのとおり！今はこどものあなたもこれから大きく成長して学校に通ったり勉強したり旅行に行ったりして、世の中にたくさん貢献する素敵な女性になるでしょう。そのためにもたくさん自己投資するのはとてもいいことだと思います。夢いっぱいのこどもたちの成長が本当に楽しみです。
おかねは、夢の実現にも、生きていくのにも必要なこと。だからこどもたちへのおかねの教育について目を逸らさずちゃんと向き合いたいと思います。働くことを好きになってほしいし、しっかりお金を使えるようになってほしいです。働くひとりの大人として、まずは自分がそういう姿をこどもたちに見せていることが重要だと思っています。
3月11日に開催されるコモンズ投信の周年イベント「The 8th Commons Dialog～共に創る"対話"の時間～」では、同会場でこどもトラストセミナーを同時開催します。今年は親子で楽しめるイベントにしたいと思っております。是非こどもトラストセミナーも見学にいらしてください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

マーケティング部　横山 玲子

ちょっといい話

コモンズ投信　伊井です。
当ファンドの約90%を占める「コモンズ30マザーファンド」が、1月に8期目の決算を迎えました。この一年は、不確実な時代を象徴するような市場環境が続きましたが、このコモンズ30マザーファンドは、今期も期中で史上最高値を更新し、5期連続で設定来の高値を更新することが出来ました。また、当期間中、組入銘柄の中でも、信越化学、ダイキン工業、マキタ、堀場製作所の4銘柄（銘柄コード順）が上場来高値を更新しました。いずれも運用開始当初から長期に投資をしている銘柄になります。事業を取り巻く環境の変化は近年、凄まじいものがありますが、そんな中でもしっかりと企業価値を高めている企業は存在しているわけです。日経平均株価は、未だにバブル時代の高値から半値の水準ですが、日本経済が停滞している中でも個別の企業の中には成長を続けている事例があるわけです。
森を見ず木を見ることの大切さを教えてくれています。
長期投資ファンドである『コモンズ30＋しずぎんファンド』は、ベストセラーファンドではなく、皆さまの長期的な資産形成に貢献するロングセラーファンドを目指しています。事業環境の変化に強い企業で構成された当ファンドには、リーマンショック、東日本大震災、75円の超円高局面をも乗り越えて、成長を続けている企業が多数組み込まれています。こうした企業は、今後、世界が大きく変化してもまた、それを乗り越えていってくれるでしょう。
外部環境の変化を自身で判断することは難しい時代。当ファンドへの投資を通じて、優れた企業にお金を託して長期的な成長を期待する。それこそが、不確実な時代の資産形成の極意と考えています。引き続き、当ファンドにご期待ください。

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長　伊井 哲朗

コモンズ30＋しずぎんファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。 なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 （信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.242%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30+しずぎんファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	2014年12月29日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

販売会社一覧

販売会社名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	日本商品先物取引協会
(株)静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○	○		
マネックス証券(株)	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○			